

事業案内

平成30年度(2018年度)事業報告
令和元年度(2019年度)事業計画



社会福祉法人
千葉いのちの電話

24時間年中無休
相談電話 043-227-3900

CONTENTS

ごあいさつ	1
千葉いのちの電話の理念	2
平成30年度（2018年度）事業報告	3
I. 相談事業報告	
(1) 電話相談研修担当者会	3
(2) 自死遺族支援 わかちあいの会「ひだまり」	8
(3) 対面相談事業委員会	8
(4) インターネット相談事業委員会	10
II. 養成と研修	11
III. 公開講演会・公開講座	12
IV. 活動報告	13
V. 他機関との連携	16
平成30年度（2018年度）決算報告	17
2019年度 事業計画基本方針	20
2019年度 社会福祉法人千葉いのちの電話事業目標	20
ボランティア相談員基礎研修講座の概要	21
千葉県いのちの電話協会	22
役員名簿	23
千葉いのちの電話役員名簿	
千葉県いのちの電話協会役員名簿	
研修専門家部会名簿	

ご支援のお願い

ごあいさつ



社会福祉法人 千葉いのちの電話

理事長 友田 直人

平成30年度も幅広い県民の皆様のご支援を賜り、ここに千葉いのちの電話の事業報告並びに2019年（令和元年）度の事業計画を報告できますことを深く感謝申し上げます。

全国の自殺者数は平成15年の約34千人をピークに年々減り続け平成30年度は21千人を下回るまでになりました。行政・各関係機関・地域の自殺防止対策に向けた地道で不断的な努力が成果を上げていることは、大変心強い限りです。

一方、千葉県の自殺者数は、昨年度、1,017人と、残念ながら前年比若干の増加となりました。但し、県下の多くの自治体では、今、真剣に自殺者を一人でも減らそうとの願いを力に多方面からの取り組みが進められています。千葉いのちの電話はこれら各自治体の積極的な活動の一助となるべく、対策検討のメンバーとして参加させていただいて参りました。何処においても、指導の立場の方の適切な判断・決定そしてご担当の方々の熱意と努力には頭の下がる思いで接しております。これらの努力が永続的に効を奏しますようこれからも微力ながら力を尽くして参りたいと思っております。

さて、本年度はお蔭様で千葉いのちの電話の開局30周年を迎えます。日本いのちの電話連盟をはじめ、諸先輩方のご指導なくしては今日の千葉いのちの電話はあり得ませんでした。心よりの感謝をお伝えさせていただきます。また、貴重なお志をもって私たちの活動を財政面からご支援してくださった千葉いのちの電話協会をはじめ県下の多くの団体様や個人の皆様お一人一人に厚く御礼を申し上げさせていただきます。

平成元年、それこそ文字通り手弁当でボランティアさんたちと汗を流しながら旧事務所を立ち上げ、開局を祝ったことが、今でも一期生の皆さんとお会いすると懐かしさとともに、同時に昨日のこのように思い出されます。私たちはこの原点のスピリット（悩んでいる人に善き隣人として寄り添い、生きてゆくことの可能性や希望に気付いてもらう）を再確認し、これまでの足跡を振り返り、これからの時代の求めにどうしたら応えてゆけるのか、をこの一年、種々記念事業を通して相談員全員で考え、共有し、行動に繋げたいと思っています。

一方、私たちもご多間に漏れず他の多くのセンターと同様、相談員の高齢化・減少等の困難を抱えています。もはや単独でどうなるものでもなく、各センターの皆様方と連携して何とか知恵を出し合い、少しでも実効のある改善をすべく努力して参りたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

これからも私たちは自殺予防のため、電話相談・対面相談・インターネット相談・自死遺族支援の4事業を、時代の声に応え続けるため、たとえわずかでも改善・進化をさせながら継続してゆくことを使命と受け止め、全員で努力して参ります。

最後となりましたが、引き続き千葉いのちの電話に対するさらなるご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

千葉いのちの電話の理念

千葉いのちの電話はかわりを求め、なんとか対処しようと苦悩している人たちに「私たちがここにいるよ」と表明し、寄り添いかかわりを求められる存在でありたいと望んでいます。そのために傾聴を基本の姿勢として、時には自殺まで思うほどの精神的危機にある人に寄り添い、対等な人間としてかわりを持ち支え合う相談活動をしています。また、使命の大きな柱である自殺予防のため、裾野の広い自殺予防活動を行います。

相談援助活動の4本の柱

電話相談

043-227-3900
24時間365日
年中無休

わかちあいの会
- 自死遺族支援 -

対面相談
- こころの相談室 -

インターネット
相談

◆ 千葉いのちの電話の歩み

・ 設立準備委員会発足	1988年 1 月	・ インターネット相談開始	2008年 7 月
・ 千葉いのちの電話開局	1989年10月 1 日	・ 対面相談開始	2009年 4 月
・ 千葉県いのちの電話協会発足	1990年10月20日	・ 千葉県報社会福祉賞受賞	2009年11月
・ 社会福祉法人設立認可	1993年12月28日	・ 社会貢献者表彰	2010年10月
・ 第22回いのちの電話相談員全国研修千葉大会・ 第10回アジア太平洋地域電話カウンセリング国際 会議開催	2001年 6 月13日 ～16日	・ 「震災ダイヤル」参加	2011年 3 月 ～2013年 9 月26日
・ 千葉市社会福祉功労表彰	2005年10月	・ 「ナビダイヤル」参加	2013年 3 月
・ 自死遺族支援「わかちあいの会ひだまり」を開始	2006年11月	・ 千葉県社会福祉賞受賞	2013年12月25日
・ 新会館（CIDビル）に移転	2007年 6 月 1 日	・ 厚生労働大臣表彰	2014年 9 月27日
		・ 開局25周年記念式典	2014年10月 1 日
		・ 千葉県いのちの電話協会25周年記念式典	2015年 9 月30日

社会福祉法人 千葉いのちの電話 概況

(2019年4月1日現在)

【設 立】1989年10月1日

【法人認可】1993年12月28日

【組 織】理事：11名 監事：2名 評議員：22名 後援会役員：22名 監事：1名

【認定者累計】1,166名 【実動相談員数】181名 【活動ボランティア数】24名

平成30年度（2018年度）事業報告

（2018年4月1日～2019年3月31日）

はじめに

福祉サービスの提供として精神的危機等に直面し、援助と励ましを求めている人々と、主に電話という手段で対話し、健全な社会人として生活することができるよう援助し、その他にこれに関連するサービスを提供し、もって社会福祉の増進に寄与することを目的として、次ぎの社会福祉事業を行う。

定款（目的）第1条

この一文は、千葉いのちの電話の活動の使命や理念を表わし、定款の第1条に掲げています。私たちはこの目的の実現のために市民運動のボランティア組織ではありますが、責任ある組織として活動を継続して参りました。平成30年度の電話相談・自死遺族支援・対面相談・インターネット相談の4相談事業の活動の概要を中心に、ここにご報告させていただきます。

I 相談事業報告

（1）電話相談研修担当者会

電話相談（2018年1月～12月）

自殺予防フリーダイヤル（毎月10日実施）

2018年1月から12月までの1年間の総受信数は17,389件で、昨年に比較し603件減りました。男性7,815件（44.9%）、女性9,574件（55.1%）で、全体の中で自殺傾向の見られるものは、2,667件（15.3%）でした。一日平均47.6件受信しています。

厚生労働省の支援による、月1回のフリーダイヤルは、1年間689件（1回平均57件）のうち男性385件（55.9%）女性304件（44.1%）で、全国から受信しています。自殺傾向は、161件（23.4%）と通常より8%も高くなっています。

9歳以下の4人のうち2人に自殺志向がみられ、いのちの電話を選んでかけていることが気になります。また20代716件中133件（18.6%）、30代1,437件中251件（17.5%）と自殺傾向の高さと実際の若者の死の多さとが重なります。

人生に悩む相談者が4,433件と飛びぬけて多く、家族・対人・精神の悩みが2,000件台で続きます。精神疾患が推測される方は、8,918件（51.29%）と半数を超

え、より丁寧な対応が望まれるところです。相談者は、精神に疾患を抱えながら、人生や人間関係、経済不安などで悩んでいます。精神疾患を抱えた方の自殺傾向は24.9%と高くなっています。

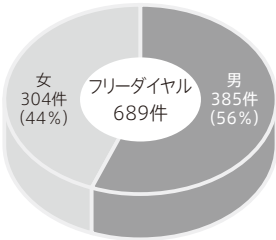
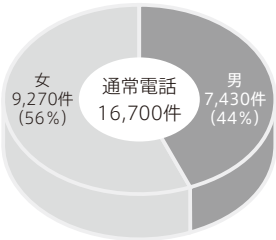
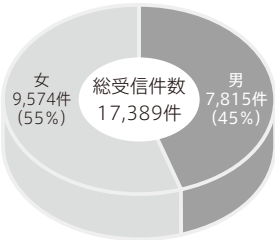
多様な相談ツールがある中で、24時間365日いつでもどこからでも匿名でかけられる「いのちの電話」を生きる支えにしている方が多く、温かい声のやりとりが何より望まれるところです。

◆ 電話相談事業概況（2018年1月～12月）

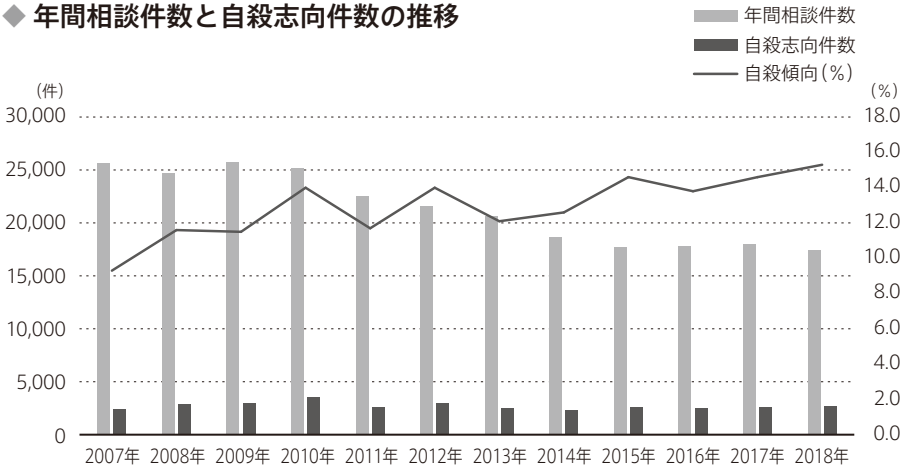
受信数			累計受信件数		
2018年1月～12月			1989年10月～2018年12月		
総受信件数	17,389件		累計受信件数	649,169件	
一日平均	47.6件				
男	7,815件	44.9%	男	285,984件	44.0%
女	9,574件	55.1%	女	361,141件	55.6%
不 明	0件	0%	不 明	2,044件	0.3%

	総件数	男		女	
		件 数	%	件 数	%
通 常	16,700	7,430	44.5	9,270	55.5
フリーダイヤル	689	385	55.9	304	44.1
総 計	17,389	7,815	44.9	9,574	55.1

受信件数



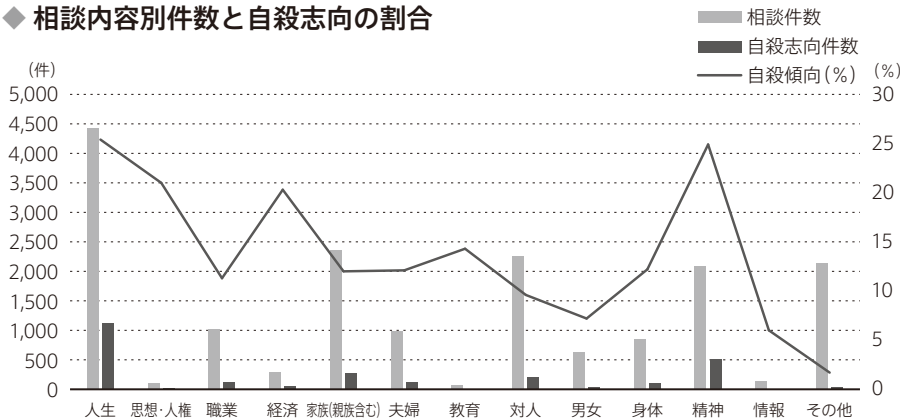
◆ 年間相談件数と自殺志向件数の推移



年 度	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
年間相談件数	25,656	24,652	25,743	25,184	22,565	21,557	20,604	18,693	17,677	17,844	17,992	17,389
自殺志向件数	2,378	2,854	2,964	3,502	2,629	3,013	2,495	2,357	2,581	2,460	2,634	2,667
自殺傾向 (%)	9.3	11.6	11.5	14.0	11.7	14.0	12.1	12.6	14.6	13.8	14.6	15.3

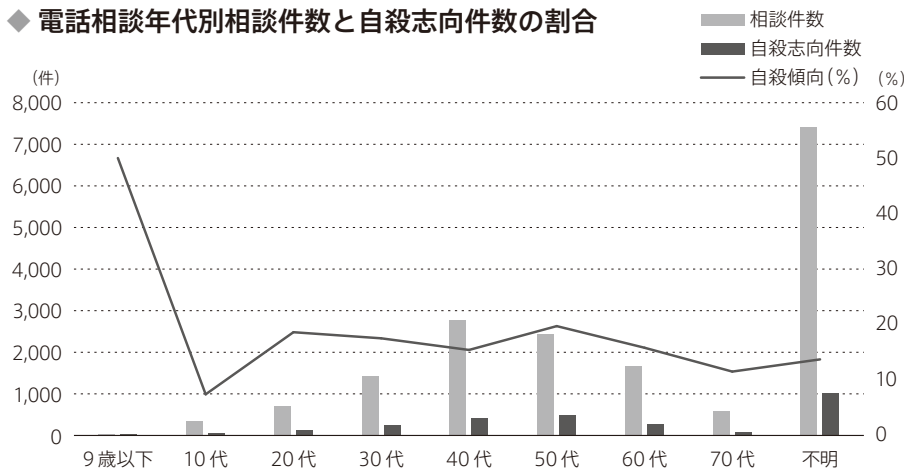
* 2017年度迄は1～12月のデータ

◆ 相談内容別件数と自殺志向の割合



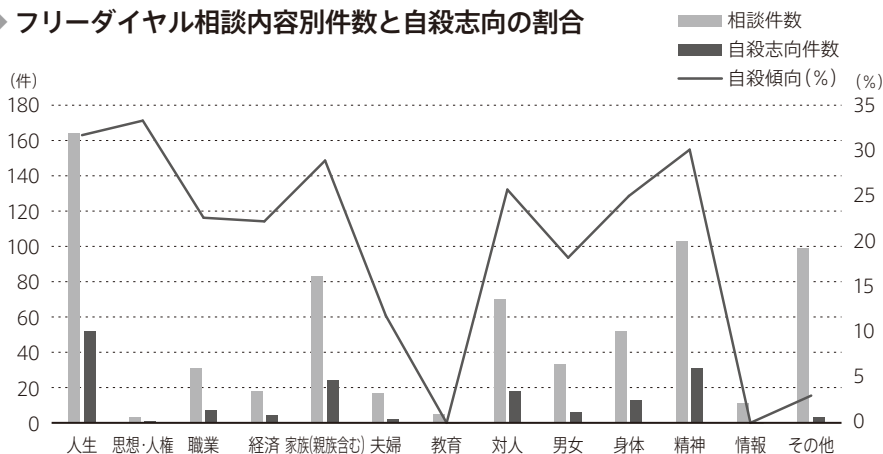
内 容	人生	思想・人権	職業	経済	家族(親族含む)	夫婦	教育	対人	男女	身体	精神	情報	その他	合計
相談件数	4,433	100	1,028	300	2,354	983	77	2,253	627	855	2,087	149	2,143	17,389
自殺志向件数	1,127	21	116	61	282	119	11	216	45	104	519	9	37	2,667
自殺傾向 (%)	25.4	21	11.3	20.3	12.0	12.1	14.3	9.6	7.2	12.2	24.9	6.0	1.7	15.3

◆ 電話相談年代別相談件数と自殺志向件数の割合



項 目	9歳以下	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明	合計
相談件数	4	349	716	1,437	2,765	2,439	1,679	592	7,408	17,389
自殺志向件数	2	26	133	251	425	481	265	68	1,016	2,667
自殺傾向 (%)	50.0%	7.4%	18.6%	17.5%	15.4%	19.7%	15.8%	11.5%	13.7%	15.3%

◆ フリーダイヤル相談内容別件数と自殺志向の割合

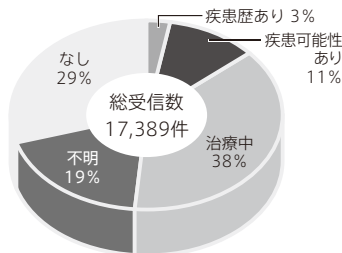


項 目	人生	思想・人権	職業	経済	家族(親族含む)	夫婦	教育	対人	男女	身体	精神	情報	その他	合計
相談件数	164	3	31	18	83	17	5	70	33	52	103	11	99	689
自殺志向件数	52	1	7	4	24	2	0	18	6	13	31	0	3	161
自殺傾向 (%)	31.7%	33.3%	22.6%	22.2%	28.9%	11.8%	0.0%	25.7%	18.2%	25.0%	30.1%	0.0%	3.0%	23.4%

◆ 精神疾患相談件数（2018年1月～12月）

	疾患歴あり	疾患可能性あり	治療中	不明	なし	合計
男	155	754	2,607	1,787	2,512	7,815
女	281	1,094	4,027	1,525	2,647	9,574
計	436	1,848	6,634	3,312	5,159	17,389

* 全体の52%に精神疾患有



電話相談の中から



40代 男性 独身 親と同居

小さい頃から生きづらさがあったが、20代で精神疾患と診断された。
アルバイトを転々としてきた。長続きせず、今は仕事をしていない。
親も年なので、働かなければと焦る気持ちが強くなっている。



60代 女性 ひとり暮らし

両親を長年ひとりで介護してきた。
2年前に母を見送って、ひとりぼっちになった。
急に心にぽっかりと穴があいてしまった。
何もする気が起きず、食欲もない。
どうして生きていったらいいんだろう。

※ 内容は電話相談に基づいて編集しています

(2) 自死遺族支援 わかちあいの会「ひだまり」

2006年立ち上げ以降12年目となった2018年は会場・回数ともに安定し、広報（リーフレット・市政だより・地域新聞）等の予定通りに継続できました。

続けていくことの大切さと重責を感じます。千葉県・市町村のホームページにも載せていただき、チラシの配布など各機関の協力を得て広報活動を活発に取り組むことが出来ました。「ひだまり」参加者は累計1,100人を超える実績を得ましたことは私達の活動のみならず多くの皆様の協力あっての事と思っております。そして「ひだまり」参加者の声から想いをお聞きするたび、無念にも大事な人に自ら命を絶たれ、遺されたという現実の自責・哀しみ・苦しみを受け止め、ケアをすることがどんなに難しいことか、私達は思い知らされます。毎回2度の「ふりかえり」をしながらも難しさをいつも体感しておりますが、私達のこの活動が「千葉いのちの電話」の目的である自殺予防に繋がることを願うばかりです。

◆ ひだまり開催

年 度	開催回数	会場別参加者数（人）						累計	参加内訳（人）	
		千葉	習志野	柏	君津	印旛	浦安		男	女
2006年～2017年	311	413	6	508	11	98	2	1,038	367	671
2018年	22	48		70		13		131	54	77
計	333	461	6	578	11	111	2	1,169	421	748

◆ 茶話会開催

年 度	茶話会	参加者	参加内訳（人）	
			男	女
2006年～2017年	23	138	31	107
2018年	5	19	3	16
計	28	157	34	123

● 参加者の声より ●

- ★「自死遺族だけの参加」というハッキリとした態度で、強い守秘を感じた。安心安全は嬉しい。
- ★会の2時間、久しぶりに以前の自分に戻れて伸び伸び話せました。
- ★この場所があってありがたい、同じ思いの人がいてほっとしました。
- ★気持ちが行ったり来たりして不安になるのもそれで当たり前だと。皆さんのアドバイスが心にしみます。
- ★無理をしないで良いことを知りました。

◆ 2018年度 ひだまり・茶話会

地 区	開催数	参加数
千葉	12	48
柏	6	70
印旛	4	13
計	22	131
茶話会千葉	2	5
茶話会柏	2	12
茶話会印旛	1	2
計	5	19
合 計	27	150

(3) 対面相談事業委員会（2018年4月～2019年3月）

2009年に対面相談を開始して以来10年目を迎え、この間の新規来談者総数は400名、対面相談実施総件数は916件となった。

2018年度は新規来談者数92名、対面相談実施件数230件と前年（140件）の160%増となっている。

今年度の傾向は、男性の新規来談者数が昨年の約3倍となったことと、年代別新規来談者数

では50代、60代が全体の50%を占めていることに変わりはないが、10代、20代、30代、40代が徐々に増加し全体の30%になってきていることである。相談内容別では「人生」「家族」が圧倒的に多く全体の75%を占めている。精神的疾患を持つ家族や問題となっている家族との向き合い方、また、自分自身の存在の意味について相談する方が増加している。

今年度は対面相談に訪れた方が深夜等には電話相談で気持ちを聴いて貰ったり、インターネット相談と対面相談の連携があったり、さらに、ひだまりからの紹介者のご報告を受けたこともあった。電話のみならず、インターネット・自死遺族支援・対面相談という手段があることの意味を強く感じた。またつながりを求めてくる来談者に応えていくことの大切さを感じることが多かった1年であった。

◆ 対面相談実施件数

年 度	実施件数
2009年～2017年	685
2018年	231
計	916

◆ 新規来談者数 男女別

年 度	男	女	計
2009年～2017年	62	246	308
2018年	30	62	92
計	92	308	400

◆ 新規来談者数 年代別

年 代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	計
男	0	6	0	9	11	4	0	0	30
女	4	2	4	6	15	20	10	1	62
計	4	8	4	15	26	24	10	1	92

◆ 新規来談者数 相談内容別

内容分野	人生	職業	経済	家族	夫婦	対人	精神	身体	計
人数	34	5	0	35	2	8	6	2	92

◆ 新規来談者数 情報源別

情報源	地域新聞	HP	広報誌	電話相談員	公開講座	ポスター	イベント	その他	計
人数	45	27	5	5	1	1	4	4	92

◆ 自死遺族個人対面相談（於：印旛合同庁舎）

実施件数：2件（60代女性）	新規来談者数：0名
----------------	-----------

対面相談室から

～～目の前の相談者とともにいる～～

数回目の面談が終わり、窓から垣間見える空を眺めながら来談者がつぶやく。その言葉に、今を感じていることがひしひしと伝わってくる。今、この空間とこの時間の中にいる来談者と私……。ここにあるのはそれだけだけれど、その表情や仕草から微かな変化を感じることも多い。目の前の相談者に対し、ただただ今と一緒にいることだけで、来談者の心の変容が起きている。

「相談者に寄り添っていく」+「疲れた人がホッとできるような場所」を……。私たちボランティア相談員だからこそできる、心と心がふれあうことの意味と意義を感じている。



(4) インターネット相談事業委員会 (2018年4月～2019年3月)

今年度は3回方式でのネット相談を開始して初めて300件を越す相談を受けることができた。要因としては相談員数が14名で継続することができたこと、返信回数をこれまでの月4回から6回にできたことが大きいと思う。相談者の年代は20代～40代が多く、男女別では女性が倍以上、地域別では千葉県が最も多いとの点は、例年と変わらない。今年度の特徴として10代からの相談が40件で、昨年28件、一昨年16件と、年々増加していることがあげられる。主な相談内容としては、部活などの友人関係や進路、受験勉強など学校生活に関わる悩みが多い。また、精神的な病気を抱えて苦しんでいる方からの相談もあった。それらの悩みの背後に家族関係（父親や母親）の問題があることもあった。私たちは特に若い方の思いを受け止めることの難しさを感じているが、精一杯の共感と寄り添いの気持ちを持って返信するように努力している。しかし、もっと学びが必要であることも痛感している。

全体の相談内容は多岐に渡っているが、中でも、家族、人生、人間関係、保健医療に関わることが多い。また、自殺傾向についても全体の36%あり、これらも例年と同様の傾向である。相談回数についても2～3往復できたものが全体の半分弱に止まっていることは、私たちの課題である。

継続研修については、先生方のご協力により、特に私たちにとっての困難な事例を取り上げて頂き、学びを深めることができた。また、「児童虐待の理解と対応」の講義では、先生の許可を頂き初めての試みとして他の事業部門との合同の研修会にすることができた。

連盟のインターネット相談には1名が認定された。今後、連盟のネット相談と私たちのネット相談を並行して実施していくことになるが、それぞれの利点を返信活動に活かせることを願っている。

<インターネット相談統計 (2018年4月～2019年3月)>

■ インターネット受信数と男女別

年 度	受信総数	男	女	不明
2018年	330	101	210	19

■ 受信件数の年次推移

年 度	2018年	2017年	2016年	2015年	2014年	2013年
件 数	330	204	180	223	153	104

■ 年代別受信数

年 代	9才以下	10才	20才	30才	40才	50才	60才	70才以上	不明
人 数	0	40	77	101	63	18	5	1	25

■ 地域別受信数

千葉県：274	その他：28	不明：28
---------	--------	-------

■ 相談回数別

1 往復：170	2 往復：99	3 往復：61
----------	---------	---------

■ 相談内容別

内容分野	人生	経済・社会	家族・家庭	人間関係	保健・医療	その他
大項目	人生／人権	職業／経済	家族／夫婦／教育	対人／男女	身体／精神	情報他
相談数	78	36	90	62	63	1

■ 自殺傾向

なし	念慮	危険	予告	実行中	不明
153	116	4	2	0	55

Ⅱ 養成と研修

(1) ボランティア相談員の養成

①第31期 ボランティア相談員養成基礎研修講座

□第Ⅰ課程 いのちを育む対人援助の視点

- 9 / 2 開講式・オリエンテーション (友田直人氏他)
- 9 / 9 ボランティアマインド (永原伸彦氏)
- 9 / 16 社会学の視点から見た自殺の問題 (清水新二氏)
- 9 / 30 自殺の予防・生きる意味 人間関係の理解 (佐藤俊一・米村美奈氏)
- 10 / 6～7 宿泊研修 (佐藤俊一氏)

□第Ⅱ課程 心の通い合う対人的かかわりの基本

- 10 / 21～12 / 9 講義・ワーク (勝山修一郎・木村登紀子氏・米村美奈氏)

□第Ⅲ課程 自殺という危機への介入

- 1 / 6 精神障がいと自殺念慮について (亀井雄一氏)
- 1 / 20 インターネット相談 (上田将史氏)
- 2 / 3 心の相談の実際 (末松渉氏)
- 2 / 17 自死遺族支援 ― 遺された人の声を聴く (藤井忠幸氏)
- 3 / 2 電話相談の特色と実際 (西浦加代子氏)
- 3 / 17 希死念慮 (木村登紀子氏)
- 3 / 24 総合学習 (木村登紀子氏)

②第30期ボランティア相談員養成基礎研修講座

□第Ⅲ課程 3月～7月 講義・グループワーク

□第Ⅳ課程 8月～2月 電話相談実習・グループワーク

③インターネット相談事業 8期養成研修

④対面相談 8期養成研修

⑤7期電話相談研修ボランティア養成研修

- 7 / 2 (面接) 7 / 23～3 / 25 (月2回実施) 講義・グループワーク
(講師：友田直人氏・佐藤俊一氏・亀井雄一氏・勝山修一郎氏・木村登紀子氏)

西浦加代子氏、藤井忠幸氏)

⑥ 3 事業合同研修ボランティア養成講座

5/15～3/19 計11回実施 5名

(講師：友田直人氏・藤井忠幸氏・勝山修一郎氏・木村登紀子氏・西浦加代子氏・佐藤俊一氏)

(2) 相談員の研修

① 電話相談員研修 (1 期生～28期生)

毎月1回 (4月～2月) 16グループ (2回専門家による研修)

講師：鉦鹿健吉氏・勝山修一郎氏・木村登紀子氏・末松渉氏・永原伸彦氏・西浦加代子氏
福山清蔵氏・米村美奈氏

② 電話相談研修担当者研修

継続研修 年9回 講師：西浦加代子氏

③ 自死遺族支援員研修

継続研修 年6回 (5/1、7/3、9/4、10/2、1/8、2/5) 講師：藤井忠幸氏
準スタッフ研修 (6/5、12/4、3/5)

④ 対面相談員研修

継続研修 年10回 (4/8、5/13、6/10、7/8、9/9、10/14、11/11、12/9、1/13、2/10)

講師：勝山修一郎氏 個人スーパービジョン 10名

⑤ インターネット相談員研修

継続研修 年10回 (4/29、5/27、6/10、7/25、8/5、10/6、12/9、1/20、2/16、3/9)

講師：日下忠文氏・上田将史氏・石川真紀氏・風間洋子氏

⑥ 事例検討研修会 (講師：西浦加代子氏)

第1回 10/29 「許してください」についての相談事例

⑦ 相談員ブラッシュアップ研修 (「日本郵便」年賀寄附助成事業)

基礎力開発研修 4/25～9/29 (6回) (講師：佐藤俊一氏) 9名

⑧ 全体研修「大人の発達障がい」

講師：長谷川正士氏

⑨ 外部研修

- ・ 相談員全国研修大会 (新潟)
- ・ 自死遺族支援事業実施センター合同研修会 (2/16)

Ⅲ 公開講演会・公開講座

(1) 「こころの力をいかす3つのステップ」

フリーダイヤル公開講演会 (厚生労働省補助事業)

講師：大野裕氏

実施日：平成30年12月2日 (日)

会場：白井市保健福祉センター 参加者：119名

(2) 「こころを軽くする3つのステップ」

山武市共催・千葉県地域自殺対策強化事業

講師：大野裕氏

実施日：平成30年12月8日 (土)

会場：山武市役所 参加者：144名



大野裕氏

(3)「自分らしい生き方とは」 ～こころの声からだの声に耳を傾けよう～

千葉県社会福祉基金助成事業

講師：上田将史氏

実施日：平成31年2月16日（土）

会場：亀田総合病院 参加者：99名



上田将史氏

(4)「心をほぐすコツ教えます」

～精神科医からの提言～

第23回自死遺族支援事業・柏市主催

講師：香山リカ氏

実施日：平成31年2月24日（日）

会場：パレット柏 参加者：97名



香山リカ氏

(5)「ひとはいつだって変わる！」

千葉県社会福祉基金助成事業

講師：夏苺郁子氏

実施日：平成31年3月10日（日）

会場：千葉市生涯学習センター 参加者：95名

IV 活動報告

1. 理事会・評議員会の開催

理事会 5月24日・8月29日・10月24日・3月13日

評議員会 6月13日・11月14日・3月27日

主な議案 平成29年度事業報告・決算報告・評議員選任
解任委員会 役員選任 評議員の選任・平成
30年度事業計画・予算



理事会

2. 千葉いのちの電話「ボランティアの集い」開催

日時：10月1日（月）13：30～

場所：CIDビル 3Fセミナー室

・講演：三橋和弘理事「ボランティアであること」

・永年10年（4名）／20年（1名）表彰

3. 認定証交付式

日時：3月23日（土）13:30～

30期ボランティア員認定

（8名）

8期対面相談員認定

（3名）

記念講演「よりそうという
こと」 花崎みさを



認定証交付式



認定証交流会

4. 部会・委員会活動

(1) 研修委員会

(5/18・10/4・3/12)

- ・30期養成講座について（第Ⅲ課程判定、第Ⅳ課程、認定）
- ・第7期電話相談研修ボランティア養成について
- ・31期ボランティア養成について（第Ⅰ・第Ⅱ・第Ⅲ課程）
- ・3事業研修ボランティア養成について
- ・基礎力開発研修について
- ・32期養成講座募集要項について

(2) 研修専門家部会

(4/12・4/26・5/1・8/10・10/11・11/6・12/18・1/28・3/11)

- ・7期電話研修担当の養成
- ・電話相談事業復務者の承認について
- ・研修専門家部会、要綱について
- ・3事業ボランティア養成について
- ・32期募集案内について

(3) 研修ボランティア部会

(4/16・5/24・7/26・9/27・10/26・11/22・1/24・2/22)

- ・電話研修担当者7期養成2年目の実施（3年計画）
- ・3事業合同研修ボランティア養成講座実施1年目の実施（2年計画）
- ・全体研修の実施 講師：長谷川正士氏 11/26（日）12/3（月）
- ・32期ボランティア相談員養成講座のカリキュラムの検討（専門家部会との合同会議）
- ・2019年度 リフレッシュ宿泊研修の検討と計画

(4) 電話相談研修担当者会

- ・継続研修16グループ（1～28期）年2回専門家による研修
- ・認定後一年継続研修29期
- ・研修担当者フォローアップ研修
- ・研修担当者スーパービジョン
- ・事例検討研修
- ・相談員のケア・資料・統計資料の作成

(5) 運営協議会（旧合同部会 11月第1回会議開催）

- ①平成31年度事業計画・予算についての検討
- ②理事会・評議員会への提出議案の検討
- ③新組織整備（運営協議会・事業委員会・総務財務委員会 運営要項の作成）

(6) 財務・総務部会

- ①千葉いのちの電話ボランティア全体会の開催（10月1日）
- ②30期認定証交付式主管（3月23日）
- ③平成31年度事業計画・予算作成の主管

(7) 広報啓発部会

広報紙「いのちの電話・ちば」第67号 6月発行 2,000部
第68号 11月発行 2,000部

(8) イベント事業部会

- ①講演会プロジェクト
県下各地域での広報活動として、行政と連携しながら無料公開講演を実施

②コンサートプロジェクト

第16回ふれあいチャリティーコンサート協力 6/28

第27回千葉いのちの電話 2018年チャリティーコンサート協力 11/29

(9) ボランティア増強部会

①31期相談員募集作業

事前説明会開催 チラシ作成

(10) 電話相談事業部会活動報告

①役員会・電話相談事業部会の開催 毎月第3土曜日 10:00~12:00

・深夜担当問題アンケートの分析、考察・組織変更に伴う業務移行について

②24時間365日の活動を維持するため、電話当番者の調整（宿泊サポーターの実施）

③フリーダイヤル毎月10日

・福島寄り添いフリーダイヤル 8/11（土）

・新潟いのちの電話転送 10/20（土）

④10年・20年表彰 10/1（月）13:30~ CIDビル セミナー室

⑤相談員の情報共有と危機管理の徹底（防災訓練・防災備品管理等）

⑥局外活動（千葉市ボランティア連絡協議会会議・総会・健康づくりフェスティバル参加・市民活動支援センター活動参加）

(11) 自死遺族支援事業部会

わかちあいの会・茶話会の開催

フォローアップ研修

公開講演会の開催

連盟合同研修会担当

三つ折りリーフレットの作成

地域新聞掲載

(12) 対面相談事業部会

対面相談実施（印旛合同庁舎・自死遺族個人対面相談）

養成研修・フォローアップ研修・健康づくり大会参加

地域新聞掲載

三つ折りリーフレットの作成

(13) インターネット相談事業部会

インターネット相談実施

養成研修・フォローアップ研修

三つ折りリーフレットの作成

(14) フリーダイヤルプロジェクト

厚生労働省補助事業について役割分担して実施

JR東日本協力により船橋駅前広報活動（9月11日）

公開講演会の開催（12月2日 大野裕氏）

(15) 30周年記念事業

実行委員会の立ち上げ

(16) OB会

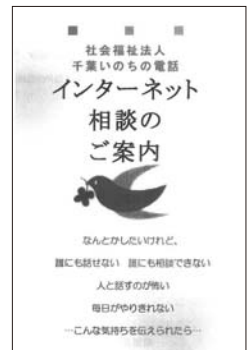
毎月1回定例会

（6月全体会・12月クリスマス会の開催 その他）

(17) 事務局

事業計画の円滑な推進に協力・千葉県・千葉市・関係機関との連携・諸会議出席
連盟会議出席

ホウレンソウ編集・作成



三つ折りリーフレット



フリーダイヤル船橋駅前広報活動

	2015年 26期	2016年 27期	2017年 28期	2018年 29期	2019年 30期	計
養成研修応募者数	39	27	43	24	25	158
受講者数	31	22	30	21	16	120
修了者数	23	16	19	11	8	77
辞退者	8	4	2	1	0	15
現相談員数	15	12	17	10	8	62

V 他機関との連携

1. 千葉県いのちの電話協会後援事業

(1) チャリティーコンサート（6/28）

会 場：千葉市文化センター・アートホール

出演者：門戸竜二 ～にじいろコンサート～

(2) 第26回チャリティーコンサート（11/29）

会 場：習志野文化ホール

出演者：錦織 健 ～テノールリサイタル～

2. 一般社団法人日本いのちの電話連盟

(1) 第46回定期総会に出席（5/25）

(2) 事務局長会議に出席（5/26）

(3) 関東甲信越ブロック会議に参加（5/25）

(4) インターネット相談運営委員会に参加（4/21・3/17）

(5) JR東日本フリーダイヤル広報活動に参加（9/11）

(6) JR東日本いのちのホットラインに参加（3/16～17）

(7) フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」に参加

毎月10日 0120-783-556（後援・厚生労働省）

(8) いのちの電話ナビダイヤルに参加 0570-783-556

(9) 自死遺族支援合同連絡会議に参加（2/16）

3. 千葉県諸機関との連携

(1) 自殺対策支援連絡協議会のメンバーとして会議に出席

（千葉県・千葉市・浦安市・柏市・市川市・船橋市・松戸市・八千代市）

(2) 千葉県精神保健福祉協議会にメンバーとして参加

（心のふれあいフェスティバル・心の健康フェア）

(3) 千葉県精神保健福祉センター（電話相談に関する情報交換会）参加

(4) 千葉県安全安心まちづくり推進協議会に出席

(5) 千葉市ボランティア連絡協議会の関連行事に参加

(6) 千葉市社会福祉協議会の関連行事に参加

(7) 千葉市保健医療事業団の健康づくりフェスティバルに参加

平成30年度（2018年度）決算報告

1. 一般会計

■ 貸借対照表（平成31年3月31日現在）

（単位：円）

資 産 の 部		負 債 の 部	
勘定科目	当年度末	勘定科目	当年度末
流動資産	26,005,394	流動負債	71,615
現金	113,119	預り金	66,365
普通預金	23,851,512	職員預り金	5,250
事業未収金	1,815,000	負債の部合計	71,615
立替金	225,763	純 資 産 の 部	
固定資産	156,079,686	基本金	145,812,651
基本財産	119,797,377	その他の積立金	35,151,425
土 地	59,500,000	修繕積立金	25,000,000
建 物	60,297,377	備品等購入積立金	2,000,000
その他の固定資産	36,282,309	ボランティア養成積立金	8,151,425
構築物	1	次期繰越活動増減差額	1,049,389
器具及び備品	26	（うち当期活動増減差額）	2,066,350
電話加入権	536,372		
ソフトウェア	594,485		
修繕積立預金	25,000,000		
備品等購入積立預金	2,000,000		
ボランティア養成積立預金	8,151,425		
資産の部合計	182,085,080	純資産の部合計	182,013,465
		負債及び純資産の部合計	182,085,080

■ 資金収支計算書（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

（単位：円）

	科 目	予 算	決 算	差 異
事業活動による収支	相談事業収入	11,805,000	11,571,999	233,001
	経常経費寄附金収入	5,655,000	10,501,065	△ 4,846,065
	受取利息配当金収入	3,000	2,799	201
	その他の収入	1,474,000	1,218,897	255,103
	収 入 計	18,937,000	23,294,760	△ 4,357,760
	人件費支出	7,672,000	6,569,092	1,102,908
	事務費支出	11,448,000	10,805,585	642,415
	支 出 計	19,120,000	17,374,677	1,745,323
	事業活動資金収支差額	△ 183,000	5,920,083	△ 6,103,083
施設整備等による収支	施設整備等収入	0	0	0
	施設整備等支出	0	0	0
	施設整備等資金収支差額	0	0	0
その他の活動による収支	積立資産取崩収入	600,000	412,000	188,000
	その他の活動収入		248,000	△ 248,000
	修繕積立預金支出		1,000,000	△ 1,000,000
	ボランティア養成積立預金支出		2,563,377	△ 2,563,377
	その他の活動資金収支差額	600,000	△ 2,903,377	3,503,377
	予 備 費	315,000	—	315,000
	当期資金収支差額合計	102,000	3,016,706	△ 2,914,706

前期末支払資金残高	22,917,073	22,917,073	0
当期末支払資金残高	23,019,073	25,933,779	△ 2,914,706

監査報告書

社会福祉法人千葉いのちの電話
理事長 友 田 直 人 様

令和元年5月9日

監事.....大 森 薫 (印)

監事.....杉 本 守 次 (印)

私たち監事は、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの平成30年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法およびその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告等（事業報告及びその付属明細書）について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその付属明細書）及び財産目録について検討いたしました。

2. 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

事業報告等及びその付属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純財産の増減の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上

■ 平成30年度補助金等内訳

(単位：円)

千葉県（電話相談員研修費）	1,160,000	自死遺族支援事業	
千葉県（地域自殺対策強化事業費）	370,000	千葉県受託事業	1,748,000
千葉市（電話相談員研修費）	500,000	柏市	285,000
千葉県共同募金会	524,000	千葉市	167,000
千葉県社会福祉協議会	100,000		
千葉市社会福祉協議会	20,000		
郵政年賀寄附	500,000		

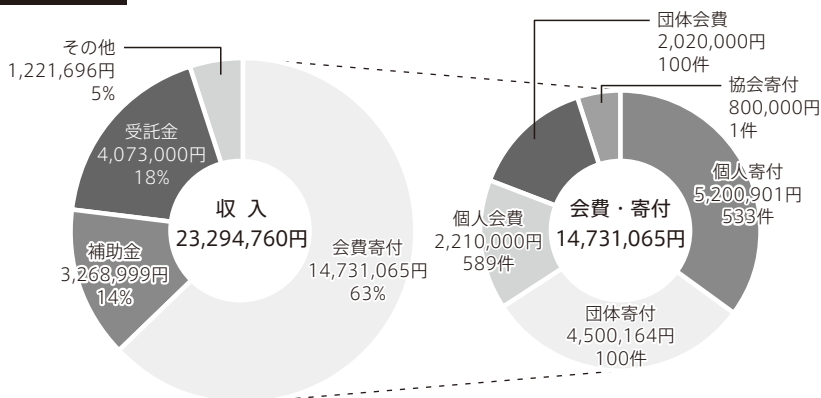
■ 後援団体寄付金

(単位：円)

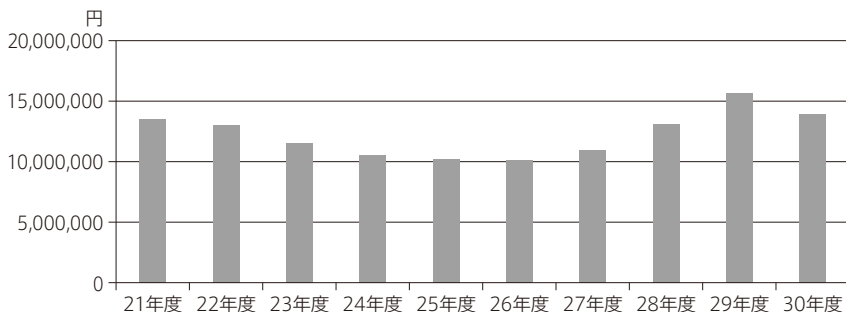
千葉いのちの電話協会	800,000
------------	---------

財務報告

平成30年度収入の内訳



会費寄付合計金額 (個人と団体)



平成30年度の収入は23,294,760円。このうち、会費寄付が63%で昨年より約177万円減っている。補助金及び受託金収入の合計は32%で、その他5%の収入は受講料や施設使用料などである。会費寄付収入は、27年度以降は、遺産寄付や個人の篤志家による大口寄付によって少しずつ増加に転じているが、安定した基盤として維持会員の新規開拓を目指す必要がある。

■大口団体寄付 (年間5万円以上) ありがとうございました。 敬称略 (アイウエオ順)

I.T.A.システム、カトリック市川教会、カトリック西千葉教会、金坂医院、医療法人社団望葉会日下医院、千葉銀行社会活動推進室、(一社)生命保険協会千葉県協会、千葉県税理士会愛のボランティア会、千葉県流通商防犯協力会、千葉興業銀行ともしびの会、千葉市民懇話会、千葉大学医学部付属医院看護部、千葉西ロータリークラブ、千葉ロータリークラブ、椿森タクシー、東邦大佐倉病院看護部、中村古峽記念病院、長谷川化学工業、(有)やまわき、連合千葉

2019年度 事業計画基本方針

1. 基本理念の浸透

精神的危機に直面し苦悩している人に傾聴を基本姿勢として寄り添う相談活動を通して、裾野の広い自殺予防活動を行う。これらは、善良な市民の自らの意思による無償の行為である。

2. 千葉いのちの電話の一般県民への広い周知

ボランティアへの参加促進を狙う。

3. 新組織の理解促進と定着

法・社会・利用者・相談員等の要請にこたえるため組織・各内規等の整備を進める。
内部での理解・改善・見直しを、対話を基に進める。

4. 施設整備の実施

建物・設備の点検と整備の計画化。
整備資金積立の実行。

5. 財政基盤の健全な強化

安定的な寄附金収入の確保と拡大のため、維持会員を更に獲得する方法の検討と実施。

6. 30周年記念事業の実施

実行委員会の活発な活動による有意義な記念事業の計画と実施。

2019年度 社会福祉法人千葉いのちの電話事業目標

I 研 修

1. 研修委員会

研修全般に関する方針・策定、研修の計画・予算の承認、
研修の課題への対応及び決定を行う。

①研修専門家部会

研修に関する事項や課題について専門家の立場から協議し、必要な提言・提案を行う。相談員の判定・認定に関する事項を行う。

②研修ボランティア部会

研修の計画・予算（案）の作成、承認・決定された研修の実施、4事業の研修に関するマネジメントを行う。

II 相談事業

1. 事業委員会

4事業にかかわる適切な相談支援活動の維持継続を図る。
すなわち円滑な相談支援の実施、相談支援実施記録の整理と保存、相談支援実施の福利厚生・環境整備を行う。

①電話相談事業部会

電話相談が円滑に進むよう調整や相談環境の改善を行う。

②対面相談事業部会

地域へ開かれた場としての対面相談の周知を図る。

③自死遺族支援事業部会

「わかちあいの会ひだまり」の周知・継続・充実を図る。

④インターネット相談事業部会

非会話の相談手段として、より多くの需要への対応を図る。

III 総務財務

1. 総務財務委員会

相談支援活動の維持継続を支える活動。すなわち相談員希望者と財務支援（会員・寄付者）の増強のために、広

令和元年度（2019年度） 一般会計予算書

平成31年4月1日～令和2年3月31日

科 目	予算額
【収入の部】	(単位：円)
会費収入	4,280,000
補助金収入	3,450,000
受託金収入	4,065,000
寄付金収入	5,855,000
雑収入	1,379,000
ボランティア養成 積立金繰入収入	600,000
当期収入合計	19,629,000
※前年度繰越金	
収入合計	19,629,000
【支出の部】	(単位：円)
人件費支出	7,468,500
事務費支出	12,157,293
修繕積立金	0
予備費	3,207
当期支出合計	19,629,000
当期収支差額	0
※前年度繰越金	
支出合計	19,629,000

く県民に千葉いのちの電話の存在を認知して貰い、理解と支援を仰ぐ。そのためボランティア相談員募集、会員・寄付者の勧誘・募集、財務、総務に関することを事務局と協力して行う。

① イベント事業部会

行政・社会福祉協議会等と連携した講演会の開催や協会主催のイベント協力を通じ、千葉いのちの電話の存在と活動を伝え、支援の拡大を図る。

② ボランティア増強部会

千葉いのちの電話の精神や活動を伝え、ボランティア志願者の拡大を図る。

③ 広報啓発部会

広報誌の発行を主に、千葉いのちの電話の存在と活動を内外に発信し、支援の拡大を図る。

④ 財務総務

事業計画・予算作成を中心に各委員会メンバー等の円滑な事業遂行を図り活動全体の調整や、財政基盤の充実を図る。

⑤ 事務局

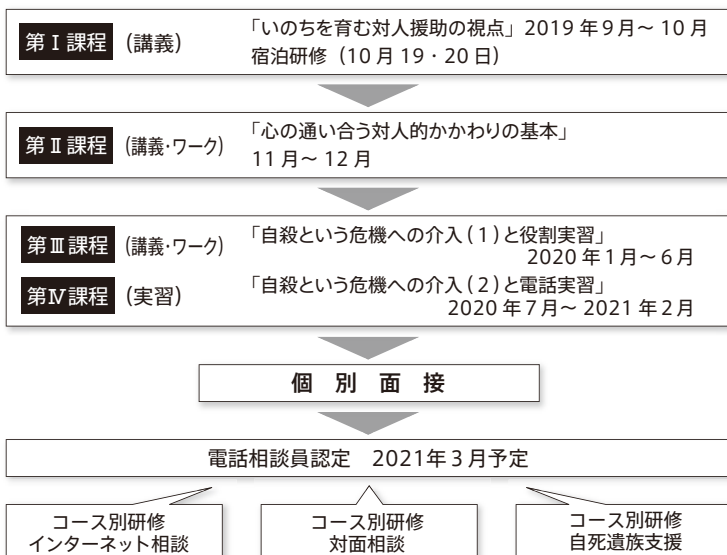
事業計画・予算に則し各事業の円滑な推進を図る。

2019年度 第32期ボランティア相談員基礎研修講座の概要

相談ボランティアになるには

- 年齢20歳以上（2019年4月1日現在）
- 資格・経験は不問（電話相談及び各種研修に参加できる心身ともに健康な方）
- 基礎研修講座第Ⅰ～第Ⅳの各課程を原則全出席と宿泊研修に出席できること

第32期ボランティア相談員養成講座の流れ



(年度により開催されないこともあります)

養成講座講師予定：上田将史氏、勝山修一郎氏、亀井雄一氏、木村登紀子氏、佐藤俊一氏、清水新二氏、末松 渉氏、永原伸彦氏、西浦加代子氏、藤井忠幸氏、米村美奈氏 他

千葉いのちの電話の相談員としての適性を考慮し、各課程ごとに判定を行います。

※ 詳しくは、事務局へお問い合わせください。

千葉県いのちの電話協会

「千葉県いのちの電話協会」は社会福祉法人千葉いのちの電話の後援会です。

千葉いのちの電話の財政的支援を主として各種支援事業（活動ボランティアによる手づくり作品の販売・チャリティバザーなど）を行っており、年2回開催するコンサートは収益事業であると共に、幅広く地域の皆様に千葉いのちの電話の活動にご理解とご支援をお願いする広報活動でもあります。1990年10月の結成から28年目を迎えることができ、これまでご支援を頂いた皆様には深く感謝申し上げます。

★第16回千葉いのちの電話ふれあいチャリティーコンサート

平成30年6月28日（木）千葉市文化センター アートホール
門戸竜司 ～にじいろコンサートin千葉～



ふれあいチャリティーコンサート

★第27回千葉いのちの電話 2018年チャリティーコンサート

平成30年11月29日（木）千葉市民会館大ホール
錦織 健（テノール歌手）



2018年チャリティーコンサート

★手づくり会・バザー部

手芸の好きな仲間が月に数回集まり、作品を作り、コンサート会場やバザー等で販売し、千葉いのちの電話を側面から支援しています。



バザー

★イオン社会貢献事業

幸せの黄色いレシートキャンペーン参加

平成31年度 コンサートのご案内

- ◆ 第17回千葉いのちの電話ふれあいチャリティーコンサート
6月28日（金）千葉市文化センター アートホール
りゅうよしこ ～人生賛歌～コンサート
- ◆ 第28回千葉いのちの電話 2019年チャリティーコンサート
11月19日（火）習志野文化ホール
加藤登紀子 ～愛をあなたに～

■大口団体寄付（3万円以上）をありがとうございました。

敬称略

千葉銀行 千葉興業銀行 千葉信用金庫
小さな親切運動ちばぎん支部

社会福祉法人千葉いのちの電話 役員名簿 (敬称略)

令和元年 7 月 1 日

顧問

佐藤甫夫 長谷川匡俊	元千葉大学医学部 教授 学校法人大乗淑徳学園 理事長	磯岡哲也	淑徳大学 学長
---------------	----------------------------------	------	---------

理事長

友田直人	社会福祉法人千葉ベタニヤ ホーム 理事長
------	-------------------------

理事

北原悦子 斎藤浩一 佐藤俊一 清水新二	千葉いのちの電話ボランティア 千葉いのちの電話 事務局長 淑徳大学 教授 日本社会病理学会 会長 放送大学客員教授 千葉県精神保健福祉センター センター長	松崎泰子 三橋和弘	日本社会事業大学 常務理事 社会福祉法人 一粒会 監事 一般社団法人 日本いのち の電話連盟 監事 千葉県若人自立支援機構 専務理事
林 偉 明		水鳥川 洋 子	

監事

大森 薫	大森税理士事務所 所長	裕本 守 次	元千葉県民生委員児童委員 協議会 事務局長
------	-------------	--------	--------------------------

評議員

青木一芳 因幡和久	千葉YMCA 理事 医療法人グリーンエミネンス 中村古峽記念病院 看護師長 今井法律事務所 弁護士 公益社団法人 千葉県看護協会 常任理事	鈴木國雄 高長谷トミ子 津田 祐 子	千葉県年金受給者協会 会長 株式会社高長谷商店 取締役 NPO 法人 VAIC コミュニ ティケア研究所 副理事長 元千葉いのちの電話ボランティア 養護施設 野の花の家 統括施設長
今井一雄 内山弘子	千葉市社会福祉協議会 常務理事兼事務局長 日本労働組合総連合会 千葉県連合会 会長	長谷川昌江 花崎みさを	一般社団法人 生命保険協会 千葉県協会 事務局長 元千葉いのちの電話ボランティア 公益財団法人千葉市保健医療 事業団 専務理事兼事務局長
大木三雄		藤本 正 弥	
小谷 裕		吉松靖子 渡 邊 茂	
加瀬紘男	株式会社 椿森タクシー 代表取締役		
加藤福子 川上浩嗣	元千葉いのちの電話ボランティア 社会福祉法人千葉県社会 福祉協議会 事務局長		
岸 憲 秀 小柳光廣	千葉YMCA 理事長 一般社団法人千葉県労働 者福祉協議会 常務理事		
近藤 龍 雄	NPO 法人千葉県精神障害者・ 家族会連合会 副理事長		
佐々木 克 朗	社会福祉法人 千葉県共同募金会 常務理事		
鈴木 和 成	鈴木測量株式会社 取締役社長		

千葉県いのちの電話協会（後援会）

役員名簿（敬称略）

令和元年7月1日

顧問

白井日出男	元衆議院議員	青柳俊一	千葉興業銀行 取締役会長
米本努	千葉銀行 取締役常務執行役員	宮澤英男	千葉信用金庫 理事長
綿貫弘一	京葉銀行 相談役	大澤克之助	千葉日報社 代表取締役社長

相談役

阿部紘一	千葉県議会議員	佐久間隆義	元市原市 市長
潤間丈助	ウルマビル株式会社代表取締役	堀江はつ	元千葉県議会議員
小川善之	元千葉市議会議員	米持克彦	千葉市議会議員

名誉会長

安田敬一	公益財団法人安田教育振興会 理事長
------	----------------------

歴代会長

川島教昭	株式会社稲毛自動車教習所 代表取締役会長
------	-------------------------

会長

橋本妊壽奈	千葉県明るい選挙推進協議会会長 成田ユネスコ協会婦人部長
-------	---------------------------------

副会長

鈴木和成	鈴木測量株式会社 取締役社長	吉成庸子	作家・エッセイスト
島田行信	学校法人市川学園 理事		

理事

天野和子	千葉いのちの電話活動ボランティア	徳丸伸弥	東日本旅客鉄道株式会社
遠藤宏之	株式会社シティハウス 代表取締役		千葉支社総務部 サービス
岡部文彦	新千葉法律事務所 所長		品質改革室長
小野成子	株式会社プラント東葉 代表取締役	豊田重俊	有限会社豊工業 取締役
影山成己	税理士法人影山会計事務所 所長	松原淑子	千葉いのちの電話活動ボランティア
日下忠文	日下医院 院長	三浦文江	千葉いのちの電話活動ボランティア
	千葉いのちの電話 理事	水上明美	株式会社ベイキューブシー
齊藤朝江	有限会社エタプン 代表取締役		代表取締役
重宗光子	千葉いのちの電話相談ボランティア	山口悦子	千葉いのちの電話活動ボランティア
友田直人	社会福祉法人千葉いのちの電話 理事長		
	千葉ベタニヤホーム 理事長		

監事

大森薫	大森税理士事務所 所長
-----	-------------

研修専門家部会

上田将史	NPO法人 志本市精神保健 福祉をすすめる会 理事長	西浦加代子	元ルーテル学院大学付属 PCG カウンセラー
勝山修一郎	千葉カウンセリングセンター 長	藤井忠幸	自死遺族ケア団体全国ネット代表
木村登紀子	聖路加国際大学 名誉教授		
	桜クリニック 臨床心理士		
佐藤俊一	淑徳大学 教授		

ご支援のお願い

●あなたのご支援を必要としています

千葉いのちの電話の活動は、多くの善意あるボランティアの無償の奉仕によって支えられています。24時間365日眠らぬダイヤルの維持や建物管理、研修生の訓練や相談員の継続研修、広報活動などのために、年間約1,900万円の経費が必要となっております。

現在、全国の自殺者は警察庁の発表によると平成29年は21,321人、千葉県内では985人になっています。「死にたい!」と訴える相談者のころは、「生きたい! 助けて!」です。その声に寄り添うために、一人でも多くの方に資金ボランティアとして千葉いのちの電話を支えてくださいますようお願い申し上げます。

●ご寄付の税額控除について

千葉いのちの電話への寄附金については税額控除が受けられます。税額控除証明書を領収書と一緒に印刷しておりますので、確定申告の際にはどうぞご活用下さい。詳細は事務局までおたずねください。

●維持会員・寄付のお願い

- ◆個人会員 年額1口 2千円（何口でも）
- ◆団体会員 年額1口 1万円（何口でも）
上記の額を毎年継続して納入して頂ける個人や団体
- ◆寄付者会員 この社会福祉法人の主旨に賛同して頂き、寄付金を納入していただける方、金額は問いません。

《お振込は下記のいずれかをご利用ください》

- ・郵便振替 / 00110-0-366563
「社会福祉法人 千葉いのちの電話」
- ・銀行振込 / 千葉銀行 県庁支店 004（普）2115973
京葉銀行本店 080（普）8897411
千葉興業銀行千葉支店 111（普）6182171
千葉信用金庫本店 001（普）0580786
口座名は「社会福祉法人 千葉いのちの電話 理事長 友田直人」

社会福祉法人 千葉いのちの電話 事業案内

発行日 2019年7月1日
発行者 理事長 友田直人
事務局 〒260-0012
千葉市中央区本町3-1-16 CIDビル
TEL 043-222-4416・4322
FAX 043-227-6911
<http://www.chiba-inochi.jp>
E-mail ll-chiba@chiba-inochi.jp

エルエル



